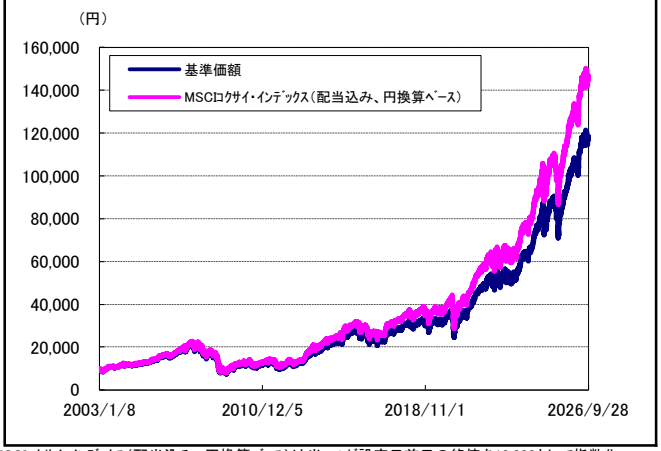
【組入投信の運用レポート】

ＤＩＡＭ外国株式インデックスファンドＶＡ

本資料は、変額年金保険の特別勘定に組入れられている投資信託についての運用状況を開示するための参考資料であり、募集を目的とするものではありません。
また、将来の運用成果を保証するものではありません。
ご契約者が投資信託を直接保有しているものではありません（投資信託を直接購入することはできません）。
特別勘定に組入れられている投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。
本資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、第一生命保険株式会社より提供するものです。
このレポートの最終ページには、諸費用やご契約者の負うリスクなどぜひご確認いただきたい内容について記載しています。必ず最終ページをご覧いただき、内容について十分ご確認ください。

2026年9月末までの運用経過

基準価額の推移（税引前分配金再投資）



・MSCIｺｸｻｲ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（配当込み、円換算ﾍﾞｰｽ）は当ﾌｧﾝﾄﾞ設定日前日の終値を10,000として指数化。
・基準価額は課税前の分配金を再投資したものとして計算していますので、実際の基準価額と異なる場合があります。
・分配金再投資後基準価額＝前日分配金再投資後基準価額×（当日基準価額÷前日基準価額）
（※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み）
・基準価額は信託報酬控除後です。

基準価額等の情報

基　準　価　額	116,910 円
解　約　価　額	116,910 円
純　資　産　総　額	156 百万円
設　　定　　日	2003年1月9日
決　　算　　日	原則 2月15日

資産構成比率

実質組入比率	100.0 %
内現物等組入比率	97.9 %
内先物等組入比率	2.1 %
現金等比率	2.1 %
組入銘柄数	1084

※組入比率は純資産総額に対する実質組入比率。
※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

分配金情報（税引前）直近3年分　※分配金は1万口当たり

第21期　(2024.02.15)	0　円
第22期　(2025.02.17)	0　円
第23期　(2026.02.16)	0　円
設定来累計分配金	0　円

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

基準価額騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月 (2026/08/31)	3ヵ月 (2026/06/30)	6ヵ月 (2026/03/31)	1年 (2025/09/30)	3年 (2023/09/29)	5年 (2021/09/30)	10年 (2016/09/30)	設定来 (2003/01/09)
当ファンド	-3.12%	-0.60%	16.64%	21.42%	86.21%	142.27%	418.15%	1069.10%
ベンチマーク	-3.11%	-0.42%	17.14%	22.39%	91.09%	152.74%	463.93%	1348.38%
差	-0.01%	-0.18%	-0.50%	-0.97%	-4.88%	-10.47%	-45.78%	-279.28%

※当ファンド騰落率は課税前の分配金を再投資したものとして算出していますので、実際の投資家利回りと異なることがあります。

組入上位10業種

No.	業種名	比率
1	半導体・半導体製造装置	14.70%
2	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.62%
3	ソフトウェア・サービス	8.32%
4	資本財	7.63%
5	メディア・娯楽	7.06%
6	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.82%
7	銀行	6.80%
8	金融サービス	5.97%
9	一般消費財・サービス流通・小売り	4.26%
10	エネルギー	4.13%

※比率は純資産総額に対する実質組入比率

組入上位10銘柄

No.	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.00
2	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	5.56
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	4.12
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	大規模小売り	2.74
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	2.30
6	META PLATFORMS INC	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.86
7	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.84
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.81
9	MICRON TECH INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.38
10	TESLA INC	アメリカ	自動車	1.16

※比率は純資産総額に対する実質組入比率

国別配分

発行国		当ファンド
北米	米国	73.57%
	カナダ	3.48%
	計	77.05%
中南米	バミューダ諸島	0.15%
	ケイマン	0.22%
	計	0.37%
欧州	オーストリア	0.10%
	ベルギー	0.20%
	フィンランド	0.29%
	フランス	2.09%
	ドイツ	2.15%
	アイルランド	1.58%
	イタリア	0.74%
	オランダ	1.89%
	ポルトガル	0.05%
	スペイン	0.97%
	ルクセンブルグ	0.15%
	デンマーク	0.39%
	スウェーデン	0.74%
	スイス	2.49%
	英国	3.49%
	ノルウェー	0.16%
	計	17.48%
ｱｼﾞｱ･ｵｾｱﾆｱ	オーストラリア	1.59%
	ニュージーランド	0.05%
	香港	0.34%
	シンガポール	0.46%
	計	2.44%
中近東	イスラエル	0.29%
	計	0.29%
アフリカ	リベリア	0.08%
	計	0.08%
その他	蘭領キュラソー	0.08%
	ジャージー（チャネル諸島）	0.15%
	計	0.23%
株式計		97.94%
現金など		2.06%
合計		100%

※比率は純資産総額に対する実質組入比率

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、実質的に株式等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【組入投信の運用レポート】

ＤＩＡＭ外国株式インデックスファンドＶＡ

本資料は、変額年金保険の特別勘定に組入れられている投資信託についての運用状況を開示するための参考資料であり、募集を目的とするものではありません。
また、将来の運用成果を保証するものではありません。
ご契約者が投資信託を直接保有しているものではありません（投資信託を直接購入することはできません）。
特別勘定に組入れられている投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。
本資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、第一生命保険株式会社より提供するものです。
このレポートの最終ページには、諸費用やご契約者の負うリスクなどぜひご確認いただきたい内容について記載しています。必ず最終ページをご覧いただき、内容について十分ご確認ください。

海外株式市場の動向

米国株式市場は下落しました。上旬は、FRB（米連邦準備理事会）高官発言を受けて利上げ観測が一時後退し、上昇する場面もありましたが、原油高や米長期金利上昇が嫌気され、下落しました。中旬から下旬にかけては、長期金利の上昇が嫌気される場面もありましたが、原油価格の下落を受けて、小幅な上昇となりました。
欧州株式市場は多くの市場が下落しました。上旬は、原油高や独長期金利上昇などが嫌気され、多くの市場が下落しました。独州議会選で極右政党が大勝したことも重しとなりました。中旬から下旬にかけては、原油価格は下落したものの、独長期金利上昇が嫌気されたことなどから、市場毎に騰落まちまちの展開となりました。
為替につきましては、米ドルは対円で下落しました。上旬は、日米の協調為替介入への警戒感などから、円高ドル安が進展しました。中旬から下旬にかけては、イラン情勢緊迫化に伴う有事のドル買い、FRBの利上げ、日銀の9月会合が期待ほどタカ派的でなかったとの受け止めなどから、円安ドル高となりました。ユーロ/円相場は前月末対比で円高ユーロ安となりました。

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、実質的に株式等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

特にご確認いただきたい重要事項
【引出機能付災害２割加算型変額年金保険（H16）特別勘定群 B 型】

■運用リスクについて

- この商品は、年金額、積立金額、解約返還金額、給付金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて増減する仕組みの、保険料一時払方式の変額年金保険（生命保険）です。引受保険会社は、第一生命保険株式会社です。
- ファンド（特別勘定）での資産運用においては主に投資信託に投資しますので、その運用においては運用リスクを負うことになります。この商品では、資産運用の成果が直接、積立金額、解約返還金額、死亡給付金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクがともにご契約者に帰属することとなります。なお、積立金額、解約返還金額、年金原資、年金額に最低保証はありません。
- 積立金額は、ファンド（特別勘定）で運用・管理されます。ファンド（特別勘定）は、実質的に国内外の株式・債券等を投資対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価格の下落」等が基準価額の下落要因となります。
- 基準価額の下落は直接、積立金額、解約返還金額、年金原資などに反映されるため、積立金額、解約返還金額、年金原資が一時払保険料相当額を大きく下回ることがあり損失が生じるおそれがあります。

■ご負担いただく諸費用について

お客さまには以下の諸費用の合計額をご負担いただきます。

(1)ご契約時（確定部分から控除する費用）

項目	金額	備考
ご契約の締結に必要な費用	一時払保険料のうち確定部分に配分した金額に対して 2.8%	確定部分の死亡給付金のお支払いおよびご契約の締結・維持に必要な費用として、一時払保険料のうち確定部分から控除します。

(2)運用期間中（運用部分の積立金から控除する費用）

①すべてのご契約者にご負担いただく費用

項目	金額	備考
保険契約関係費 死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用です。	**ファンド（特別勘定）の資産総額に対して 年率 1.545%**	ファンド（特別勘定）の資産総額に対して年率 1.545%/365 日を毎日控除します。
運用に関わる費用 各ファンド（特別勘定）の運用に関わる費用として、投資対象となる投資信託にかかる信託報酬などです。	**信託報酬は、（年率）1.155%が上限です。 （別表をご覧ください）** ※運用手段の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。	投資対象となる各投資信託の信託報酬は、信託財産の額に対して所定の率（年率）/365 日を毎日控除します。

※上記の信託報酬の他、以下の諸費用を間接的にご負担いただくことがあります。なお、売買委託先、売買金額等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示しておりません。
・有価証券の売買時の売買委託手数料および有価証券取引に係る手数料・税金、先物・オプション取引に要する費用、信託財産留保額、当該手数料にかかる消費税等相当額および外貨建資産の保管等に要する費用（マザーファンドで運用する場合も同様）等

（別表）各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の信託報酬

特別勘定の名称	主たる投資対象とする投資信託の信託報酬※	特別勘定の名称	主たる投資対象とする投資信託の信託報酬※
日本株式型（S225）	年率 0.495%（税抜 0.45%）	世界債券型（SGB2）	年率 0.77%（税抜 0.70%）
日本株式型（SJE1）	年率 1.155%（税抜 1.05%）	不動産投信型（SJR1）	年率 0.704%（税抜 0.64%）
日本株式型（SJE2）	年率 1.155%（税抜 1.05%）	バランス型（SBF1）	年率 0.737%（税抜 0.67%）
世界株式型（SGE1）	年率 0.5775%（税抜 0.525%）	マネープール型（SMP）	年率 0.55%（税抜 0.50%）を上限とし、コールレートの水準により決定
世界債券型（SGB1）	年率 0.5775%（税抜 0.525%）		

※日本株式型（SJE1）について、主たる投資対象とする投資信託のマザーファンドにおいて有価証券の貸付の指図を行った場合は、マザーファンドの信託財産に属する品貸料のうち信託財産に属するとみなした額（信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める品貸料の割合を乗じて得た額とします。）に 100 分の 50 未満の率を乗じて得た額が上記信託報酬に加算されます。

※上記信託報酬は、2026 年 4 月現在の数値であり、運用会社により今後変更され引き上げられることがあります。なお、（ ）内は消費税抜きの額を表示しています。

②特定のご契約者にご負担いただく費用

項目	金額	備考
保険契約維持費 基本保険金額が 200 万円未満の場合にかかる費用です。	**毎月 400 円**	月単位の契約応当日（契約日を含みます）始に積立金から控除します。
解約控除 契約日（増額日）から経過 10 年未満で解約・減額された場合にかかる費用です。	**契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額に対して 6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額**	解約・減額時にお支払いする積立金から控除します。

(3) 年金受取期間中

項目	年金の種類	金額	備考
保険契約関係費	確定年金 保証期間付有期年金	**支払年金額に対して年率 1.0%**	第2回以後の年金の年金支払日に責任準備金から控除します。
	保証期間付終身年金	**保証期間中：支払年金額に対して年率 1.0% 保証期間経過後：支払年金額に対して年率 2.0%**	

※上記の率等は年金支払開始日の時期により異なることがあります。

■その他ご留意いただきたい事項について

- この商品では、年金原資、年金額に最低保証はありませんので、お受取りになる年金の合計額が一時払保険料相当額を下回ることがあります。そのため損失が生じるおそれがあります。
- この商品では、ご契約日（増額日）から10年未満に解約・減額をされますと解約控除がかかります。また、解約返還金額には最低保証はありませんので、一時払保険料相当額を下回ることがあります。そのため損失が生じるおそれがあります。